

イーストスプリング・
ジャパン中小型厳選
バリュー株ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2021年7月28日～2022年7月27日

第8期 2022年7月27日決算

日経新聞掲載名：ジャパ中厳選

第8期末	基準価額	18,046円
	純資産総額	2,834百万円
第8期	騰落率	3.5%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年7月28日～2022年7月27日)



第 8 期 首	17,436円
第 8 期 末	18,046円 (既払分配金 0円)
騰 落 率	3.5% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかにについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様 1 人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



・保有している株式が上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年7月28日～2022年7月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	330円	1.925%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、17,122円です。
(投信会社)	(170)	(0.990)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(151)	(0.880)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(9)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.066	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株式)	(11)	(0.066)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用	10	0.057	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(6)	(0.032)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(4)	(0.025)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	351	2.048	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

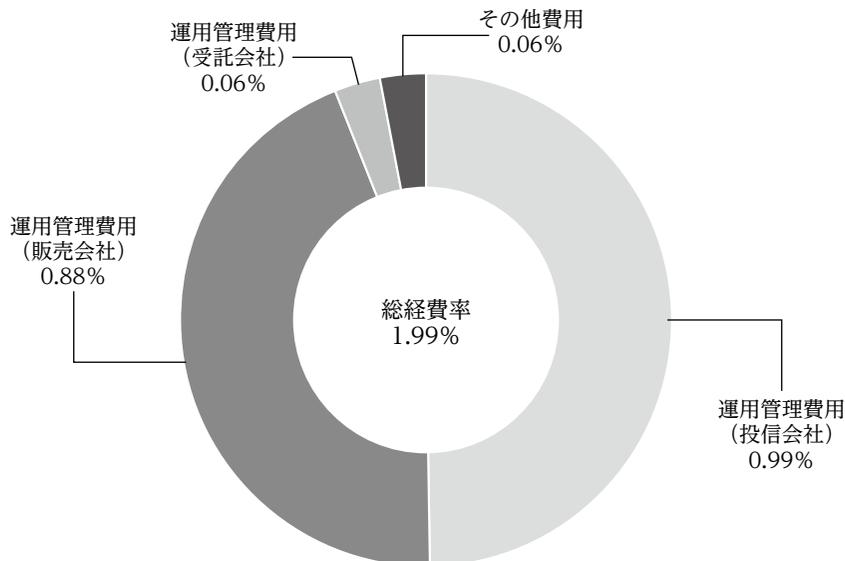
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2017年7月27日～2022年7月27日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年7月27日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/7/27	2018/7/27	2019/7/29	2020/7/27	2021/7/27	2022/7/27
基準価額	(円)	15,582	16,431	13,363	11,777	17,436	18,046
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	5.4	-18.7	-11.9	48.1	3.5
純資産総額	(百万円)	7,430	5,663	3,668	2,463	3,100	2,834

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

日本株式市場

期初から新型コロナウイルスのデルタ株感染急拡大やトヨタ自動車の減産報道などを受けて株式市場は下落しましたが、2021年9月に菅首相が退陣を表明したのち自民党総裁選への期待などを背景に上昇しました。その後は中国の不動産開発大手の債務問題に対する懸念や11月には新たな変異株オミクロン株感染拡大による景気失速懸念などを受けて下落

しました。2022年1月には米国の利上げや資産購入縮小ペースが速まるとの見方から成長株を中心に株価の調整が見られました。2月にはロシアのウクライナ侵攻が始まったことを受けて株価はさらに下落しました。その後はロシアとウクライナとの和平交渉が進むとの期待や円安の進展が好感され株価は反発し、期末を迎えました。

ポートフォリオについて

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中

長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、エイチ・ツー・オー リテイリングやサトーホールディングスなどの株式を新たに組み入れました。一方で、商船三井やローランド ディー.ジー.などの株式を全売却しました。

パフォーマンスは、商船三井や新生銀行などがプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第8期	
	2021年7月28日 ~2022年7月27日	
当期分配金 (円)		—
（対基準価額比率） (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		8,045

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

これまで市場が短期的な視点やテーマに基づいた行動をとってきたことによって、依然として多くの銘柄の株価は企業の本来の価値を正確に反映していないとみており、長期投資家にとっては投資機会を見出すことが可能だと思われます。当マザーファンドは企業の長期的な収益をけん引するドライバーは何であるかを分析し、さらに現在の株価がどのような懸念を織り込んでいるのかを十分に理解

したうえで判断します。市場が短期的な視点で投資行動を起こす中、我々は長期的な観点から企業業績のトレンドに着目していきます。

多くの日本企業は、これまでの非効率な投資と過剰な負債を削減してきた結果、他の先進国並みの収益性や体力を備え、収益率の水準は肩を並べつつあります。また、報酬委員会の導入や社外取締役の増員など、コーポレートガバナンスに対する企業の姿勢は改善されており、経営陣が株主リターンを意識した適切な判断を下すことが世界で勝ち抜ける高い競争力につながると考えています。

マザーファンドのアプローチでは、テーマに基づく市場の選好を追いかけることは避ける一方、割安とみられる銘柄群の中から、バリュエーションに基づく投資機会を見出してみたいです。

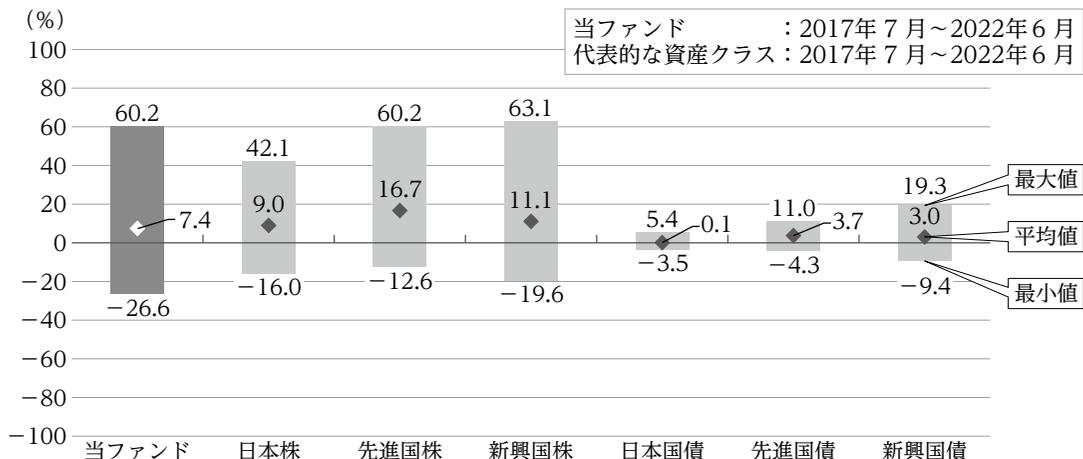
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2014年8月8日から2024年7月29日まで	
運用方針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ ジャパン中小型厳選 バリュー株ファンド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を 主要投資対象とします。
	イーストスプリング 日本中小型株式 マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みま す。）中小型株を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング・ ジャパン中小型厳選 バリュー株ファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額 の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
	イーストスプリング 日本中小型株式 マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の 10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
分配方針	毎決算時（毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中絶に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	J P モルガン G B I グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

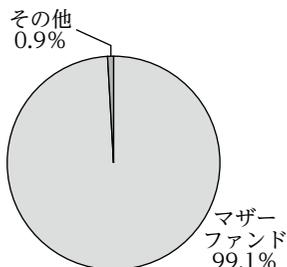
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

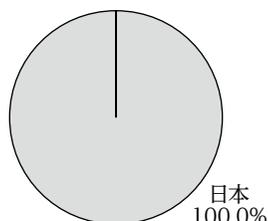
ファンド名	第8期末 2022年7月27日
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	99.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

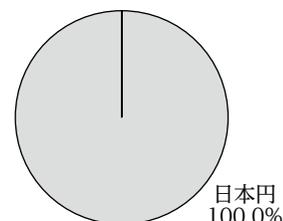
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第8期末 2022年7月27日
純資産総額	(円)	2,834,589,302
受益権総口数	(口)	1,570,793,104
1万口当たり基準価額	(円)	18,046

*当期中において追加設定元本額は17,209,774円、一部解約元本額は224,749,004円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド>

基準価額の推移(2021年7月28日～2022年7月27日)

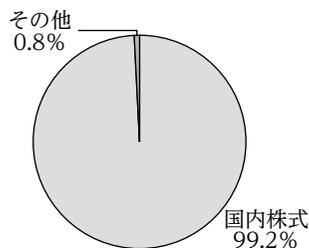


組入上位10銘柄(組入銘柄数：49銘柄)

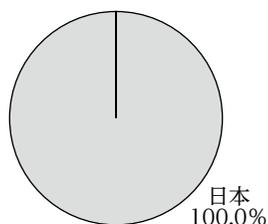
(2022年7月27日現在)

銘柄名	業種	市場	比率
クレディセゾン	その他金融業	東証プライム	3.4%
NOK	輸送用機器	東証プライム	3.0%
ハマキョウレックス	陸運業	東証プライム	2.9%
住友重機械工業	機械	東証プライム	2.9%
リコー	電気機器	東証プライム	2.9%
エイチ・ツー・オー リテイリング	小売業	東証プライム	2.9%
りらいあコミュニケーションズ	サービス業	東証プライム	2.8%
ニッタ	ゴム製品	東証プライム	2.7%
大東建託	建設業	東証プライム	2.7%
川崎重工業	輸送用機器	東証プライム	2.7%

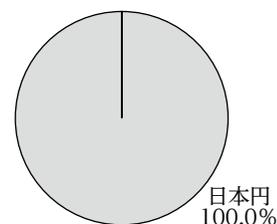
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2021年7月28日～2022年7月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	13円	0.066%	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、19,748円です。
(株式)	(13)	(0.066)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合計	13	0.066	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。